



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,970.99	216.30	0.60	4.02	17.53	30,606.48
NASDAQ	15,630.60	113.23	0.73	3.61	21.28	12,888.28
日経225	28,437.77	-287.70	-1.00	1.46	3.62	27,444.17
上海総合	3,666.35	-6.69	-0.18	1.63	5.57	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,055.12	-23.57	-0.46	3.14	-3.00	5,211.29
ハンセン	23,995.72	-259.14	-1.07	0.96	-11.88	27,231.13
中国企業	8,578.33	-79.44	-0.92	1.45	-20.12	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.0%高と4週ぶりに反発、上海総合指数は1.6%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.0%高と4週ぶりに反発した。6日は米国に上場する中国企業の上場廃止リスクが意識されて下落。同日夜に中国人民銀行が預金準備率の0.5%引き下げを発表し、翌7日は3営業日ぶりに大幅反発した。その後、8-9日と続伸してハンセン指数は節目の24000ポイント台を回復。10日は利益確定売りで再び24000ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が週間で1.6%高と5週続伸。中国人民銀行による預金準備率の引き下げ発表が好感され、節目の3600ポイント台を回復した。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、中国政府による政策期待が相場の支えに

香港市場は堅調な展開か。14-15日に開かれる米FOMCを前に市場ではテーパリングの加速や早期利上げ観測が高まりやすいが、中国政府による政策期待が相場を支える展開が予想される。中国政府は8-10日に来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会议を開き、新たな減税やコスト削減策を実施する方針を打ち出した。15日に発表される中国の主要経済指標が仮に弱い結果だったとしても、景気対策への期待が相場の下支え要因となりそうだ。本土市場も今週は政策期待を背景に堅調な展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園服務(06098)	53.90	16.29
2 サンス・チャイ(01928)	18.84	7.66
3 李寧(02331)	93.75	7.20
4 龍湖集團(00960)	40.50	6.58
5 碧桂園(02007)	7.52	6.52
6 華潤ビール(00291)	66.15	6.09
7 バドワイザーAPAC(01876)	20.60	5.64
8 吉利汽車(00175)	24.20	4.99
9 中国海外発展(00688)	19.52	4.39
10 舜宇光学科技(02382)	245.20	4.25

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 新奥能源(02688)	137.70	-6.33
2 ネットイース(09999)	162.80	-3.78
3 JDドットコム(09618)	312.20	-2.92
4 創科実業(00669)	166.80	-2.91
5 BYD(01211)	289.80	-2.69
6 薬明生物技術(02269)	100.50	-2.62
7 小米集團(01810)	19.20	-2.34
8 瑞声科技(02018)	32.85	-1.94
9 銀河娛樂(00027)	41.85	-1.41
10 信義ガラス(00868)	19.70	-1.40

▼今週の主なイベント

12月14日(火)
【米国】FOMC(～15日)
12月15日(水)
【中国】小売売上高、鉱工業生産(11月)、固定資産投資(1-11月)

▼今週の期待材料

- ◆中国で来年の経済運営の基本方針を決める中央経済工作会议開催、新たな減税やコスト削減策の実施を表明
- ◆新型コロナのオミクロン株に対する過度の警戒感が後退、世界で感染拡大も重症化リスクは低い傾向に
- ◆15日に中国の主要経済指標発表、弱い結果でも中国政府による景気対策への期待が相場の下支え要因に

▼今週の懸念材料

- ◆14-15日に米FOMC開催、テーパリングの加速や早期利上げ観測に警戒感が高まる可能性も
- ◆米財務省が証券投資を禁じる中国企業のリストにセンスタイムを追加、米中分断でリスク回避強まる公算
- ◆中国汽車工業協会発表の11月の新車販売台数が前年同月比9%減、半導体不足で低迷続く

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国中鉄 (00390) : 中央経済工作会议で中国政府がインフラ投資の前倒し方針を表明
- ☆ 中国中信 (00267) : 傘下の中信重工機械が3100万元の補助金を受領
- ☆ 天津創業環保 (01065) : 第三者割当増資計画が天津市国资委の認可を取得
- ☆ 中国工商銀行 (01398) : 中国人民銀行が預金準備率を15日付で0.5%引き下げ
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 11月のカメラモジュール出荷量が34%増加
- ☆ 平安健康医療科技 (01833) : 最大5600万株の自社株買い計画を発表
- ★ 裕元工業 (00551) : 11月の純売上高が7%減少、1-11月は1.5%増収
- ★ 大唐国際発電 (00991) : 大株主が保有株1億300万株を売却、発行済み株式の0.56%
- ★ 舜宇光学科技 (02382) : 11月の携帯端末用レンズセット出荷量が4%減少
- ★ 中国恒大集団 (03333) : フィッチが格付けを「一部デフォルト」に引き下げ

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。